

平成28年度 市民生活部長「政策宣言」達成状況

市民生活部長 河原 隆 幸

○ 平成28年度重要事業

事業名	新斎場の整備
目標	これまでの経過も踏まえ、引き続き慎重に選定作業を進め整備地を決定するとともに、新斎場整備の基本計画を策定し、基本設計に着手します。
年度末達成状況	沖塚原地区を候補地とした「新斎場整備基本計画」の策定を終え、基本設計業者を選定するための公募を行いました。
自己評価	候補地の選定と新斎場整備基本計画の策定を終えたことから、事業は概ね予定通り進捗していると考えています。ただ、候補地の自治会住民の中には、斎場整備に理解をされていない方々も一部おられることから、今後も理解を得られるよう説明していきます。

事業名	新庁舎開庁に伴う新しい窓口サービスの構築
目標	新庁舎には総合窓口と担当課窓口を、大島を除く4地区には地区センターを設置し、相互に連携を取りながら、窓口サービスの充実に努めます。特に、新庁舎の総合窓口につきましては、「待たない」「迷わない」「手間どらない」窓口が実現できるよう、開設に向けて着実に準備を進めていきます。
年度末達成状況	新庁舎では、ライフイベントに関連する諸手続を一括で行う総合窓口を設置すると共に、スムーズにお客様を誘導し適切な窓口対応を行うためのフロアマネジャーを配置しました。 また、4つの地区には証明発行を中心とした身近な窓口サービスを提供する地区センターを設置しました。
自己評価	窓口対応の改善を目標に掲げ、職場内でのミーティングを開催するほか、お客様からの意見を参考にすることで、目標とした「待たない」「迷わない」「手間取らない」窓口を、高いレベルで実現することができました。

事業名	新庁舎につながるコミュニティバス路線の新設
目標	新庁舎につながる新路線を開庁に合わせて開設し、この路線を中心に既存路線の支線化や長距離、大循環路線の見直しを図るとともに、利用実態に合わせた車両の小型化を進めるなど、利便性の高い効率的な運行を実現します。
年度末達成状況	新庁舎と小杉駅を經由して市民病院とパスコ前を結ぶ新路線(中央幹線)を10月3日から運行しました。併せて長距離、大循環となっている路線の見直しを行うとともに、利用者が少ない路線で使用する車両の小型化を実施しました。
自己評価	新路線(中央幹線)の利用促進を図るため、既存路線との乗継案内等について、市報や市ホームページに掲載しました。しかし、利用者数は思ったほど伸びていないことから、市民の皆さんへのより一層の周知に努めます。

事業名	協働のまちづくりの推進
目標	地域振興会や市民活動団体等と行政とがお互いの立場と役割を理解し、連携・協力を図りながら、協働のまちづくりを進めます。また、近年、地域づくりや公共サービスの新たな担い手として期待が高まっている、NPO法人の活動内容等を紹介するホームページの制作に取り組みます。
年度末達成状況	地域型市民協働事業を実施し、地域の実情に合ったまちづくりを推進するとともに、市民の自由な発想を生かした公共サービスを提供するため、提案型公募事業を実施し、協働のまちづくりを進めました。また、地域とNPO法人の連携を図るため、NPO法人の活動内容等を紹介したポータルサイトを制作しました。
自己評価	市民協働のまちづくりは、おおむね順調に進んでおり、今後とも事業の改善に取り組みます。また、地域とNPO法人とが連携した協働のまちづくりにも積極的に取り組んでいきます。